

セラ5000タイルはけい酸塩の反応硬化でタイル・石材及び目地の劣化を防ぎ、目地から水の浸入を抑制し、タイルの剥落を予防する効果も付与され、タイル・石材の保護機能剤としてご使用できます。タイル表面層は親水化しセルフクリーニング効果で長期間の美観を維持します。

セラ5000タイル撥水は、撥水効果により雨水の浸入を抑制し、特に寒冷地などの凍害に効果的です。仕上げはいずれも透明仕上げでタイル・石面の意匠、風合いをほとんど損なうことはありません。

超高耐候性能 強化・保護・美観

- 多孔質なコンクリートは毛細管空隙が連続し浸透性があり、劣化要因に共通する水の浸入からさまざまな劣化現象を引き起こします。セラ5000タイル・セラ5000タイル撥水はコンクリート中の水酸化カルシウムと反応し、ガラス状の結晶物が空隙を小さくし、表層では水を吸収しますが、内側ではガラス結晶物が防水層となり透湿性を有する仕上材とのダブル効果で躯体コンクリートの劣化進行を抑制します。
- けい酸塩無機質系クリアー材の結合エネルギーが有機物を劣化させる紫外線エネルギーより高く、また反応基を持たないことから耐久性に優れます。
- 無機高分子の組成により静電気を帯びることなく浮遊する汚染物質を引き寄せないため汚染の抑制効果を発揮します。

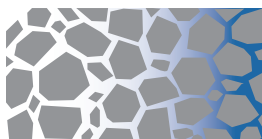
■コンクリート強化イメージ（含浸反応イメージ図）

Scientific Mechanism

〈塗装前〉



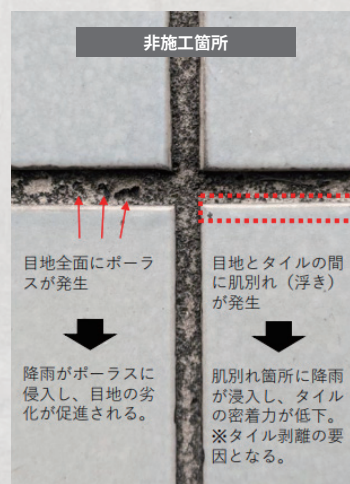
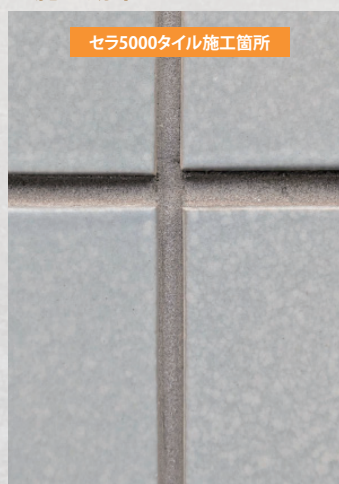
〈塗装後〉



空隙などに浸透し結晶化することで緻密化して表層劣化、中性化を防止し、塩害・凍害に対する抵抗性も向上します。

■製品	セラ5000タイル	16kg	4kg
	セラ5000タイル撥水	16kg	4kg
■用途	磁器タイル・煉瓦・大理石・天然石など		

■施工効果



超高耐候性

けい酸塩金属アルコキシル系クリアーコーティング剤 アルコール系

セラ5000-92

セラ5000-92は壁や床に貼られた天然石やタイルの目地補強、床では防滑性を向上させ歩行安全性に貢献し、汚染性に優れた機能は意匠性を損なうことなく耐久性を高めます。



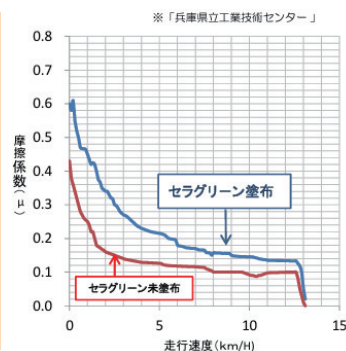
＜防滑、汚れ固着・しみ防止、基材保護、意匠性維持＞

防滑試験データ

試験場所：兵庫県立工業技術センター
試験体：御影石（本磨き）ウエット状態
使用機器：DF テスター（サニー工研製）
使用ゴム：シューズ用合成ゴム（硬め）

【考察】

一般的には摩擦係数0.2以上では滑らない。
セラグリーンを塗布した試験体②では、水に濡れた状態で時速6kmで摩擦係数が0.2以下で滑る心配がない。普通の歩行速度は大人で4km/時で安全が確保される。



建築物のエントランス等の床に使用されている天然石やタイルなどの床材は水に濡れると滑りやすくなる危険性があります。セラグリーンを塗布すると表面の摩擦抵抗係数が上がり、防滑効果を発揮するだけでなく、防汚効果を高めポリッシャーによる定期的な洗剤洗浄が不要となり、日常メンテナンス程度で長期間にわたって意匠性と防滑防汚性を維持することができます。

■製品	セラ5000-92	18kg	4kg
■用途	磁器タイル・煉瓦・大理石・天然石など		

※施工仕様はお問い合わせ下さい。

【仕様書】 セラ5000タイル・セラ5000タイル撥水

【セラグリーン】 けい酸塩系無機質 クリアーコーティング セラ5000タイル・セラ5000タイル撥水

【施工仕様】 塗装部位：タイル面、石面

	使用材料	塗回数	標準所要量 (kg/m ²)	塗り重ね 乾燥時間
下地清掃	エアブロー刷毛等で施工面の埃等を除去する。固着突起はカワスキで取り除きサンディングで平滑処理する。			
上塗り1	【セラグリーン】 セラ5000タイル・セラ5000タイル撥水	1	0.08～0.10	ウエット/ウエット
上塗り2	【セラグリーン】 セラ5000タイル・セラ5000タイル撥水	1	0.08～0.10	

短毛/中短毛/中毛ローラーまたは吹き付けにて施工する

※セラ5000タイルが含浸した後、反応過程で酸に触れると表層で反応して白華してしまうので注意してください。

また、セラ5000タイルの反応硬化後においても酸に触れると毛細管現象にてタイル目地表層に浸み込み、白華させますので 酸を使用する場合は養生・取扱いに十分注意してください。

※タイル表面のふき取り不十分な場合、乾燥後白色結晶化する場合がありますのでご注意ください。特に濃色系の素材は目立ちますのでご注意ください。

※セラ5000タイル撥水は撥水型により乾燥が進むとハジキ現象が生じますので塗り重ね時間にご注意ください。

※タイルの吸水率により使用量が変わります。

※保管上の注意： ●直射日光下、冬季の0℃以下での保管は避けてください。一度凍結すると再生しません。

●通風のよい、5℃以上の冷暗所に施錠して保管してください。

※本施工前に必ずテストコートを実施して下さい。

■施工手順

